

資材コスト引き下げへの取り組み - 肥料・農薬 -

1. 肥料について

肥料銘柄集約の取り組み

- ◆ 銘柄・工場を絞り込み、製造コストを引き下げる。
- ◆ 農家の皆さまからの事前予約数量を背景にメーカー価格を徹底比較し、肥料価格の引き下げに取り組む。
- ◆ 新たに普通化成・苦土入り高度化成・有機化成でも銘柄集約に取り組み、肥料価格を引き下げる。



予約自己引取・肥料直送の推進

<予約自己引取とは>

申込者自身が肥料を引取りすること。

<肥料直送とは>

肥料メーカー工場から直接、申込者に肥料を届けること。

配送にかかる費用相当分を差し引いたメリット価格で提供

平成30年実績

予約自己引取：57件(3,262袋)
うち、基肥2,669袋(普及率:5.3%)
肥料直送：7件(6,380袋)
うち、基肥5,505袋(普及率:10.9%)



2. 農薬について

農薬担い手直送規格の普及拡大

- ◆ 従来大型規格よりもさらに大型な「担い手直送規格」の販売を開始。
- ◆ 完全受注生産であること、申込先へ直接配送することにより物流コストを抑え、価格の引き下げる。

通常規格



大型規格



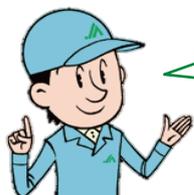
担い手直送規格



31年産用から水稻除草ジャンボ剤の取扱開始！

平成30年実績
販売数量：30袋
面積換算：120ha
水稻面積：1,879ha
普及率：6.4%

※商品は「受注生産品」のため、受注受付期間があります。



生産資材コスト低減にお役立てください！
詳しくは、資材課（54-0445）へお問い合わせください。